

仕様書番号：第 50 号  
作成年月日：3年 7月 9日

# 17号建物渡り廊下外装材補修工事

工事件名	17号建物渡り廊下外装材補修工事	図示番号	1 / 8
種 別	表 紙	縮 尺	一
陸 上 自 衛 隊 朝 霞 駐 屯 地 業 務 隊			

# 工事仕様書

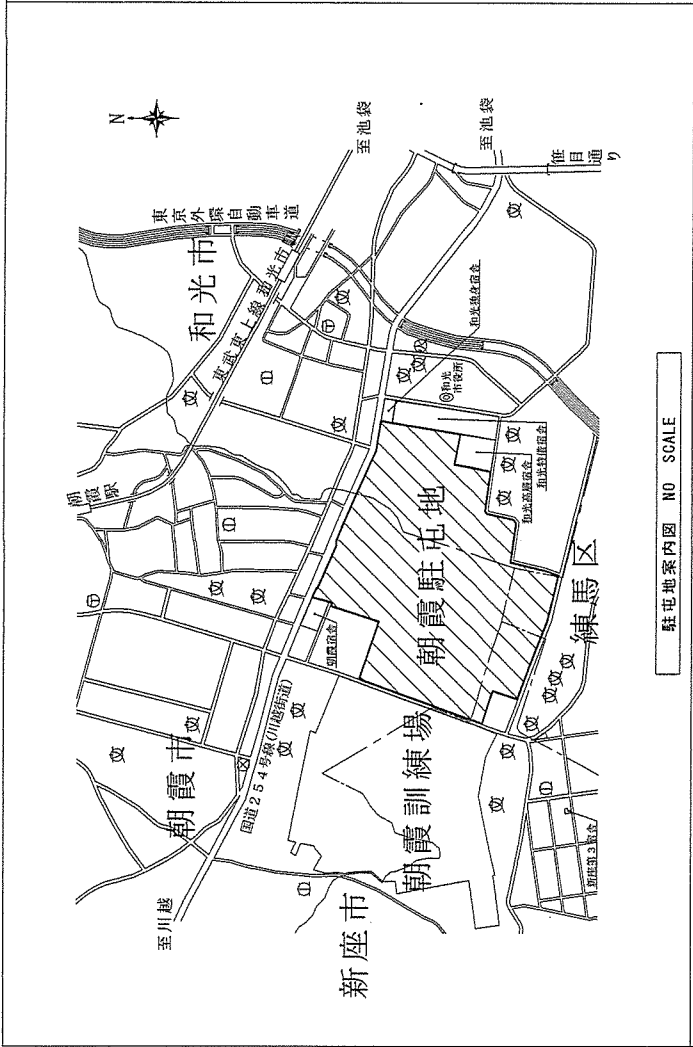
- 1 工事名:17号建物渡り廊下外装材補修工事
- 2 工事場所:東京都練馬区大泉学園町 陸上自衛隊朝霞駐屯地 97.4㎡
- 3 工事概要:(1)外装材撤去・新設 97.4㎡  
(2)透湿シート及び胴縁新設 97.4㎡  
(3)塗装工事
- 4 履行期間:契約日～令和3年10月29日(金) 97.4㎡
- 5 (実工事):令和3年10月15日(金)までに工事を完了させること。  
一般事項:本工事は、本特記仕様書によるほか国土交通省制定「公共建築工事標準仕様書」(現行版)による。

一般共通事項	
項目	細部
1 協議	本仕様書及び図面に質疑が生じた場合には、監督官と協議を行いその指示に従うこと。
2 軽微な変更	現場の収まり等により軽微な変更の必要性が生じた時は、監督官と調整しその都度指示に従うこと。ただし、請負金額・工期等の変更は行わないものとする。
3 復旧・補償	工事実施に際して、隊員及び部外者等に障害等を与えた場合又は施設等に損傷を与えた場合は、請負者の責任において復旧及び補償すること。
4 使用材料	使用材料は仮設材を除き全て新品とし、監督官の検査を受け合格したものを使用する。
5 現場管理	請負業者は現場代理人等を指定し、関係法令に基づき現場の管理を行い、防災に努めること。また、危険性のある場所には、危険標示等の処置を行うこと。
6 立入	工事現場及び許可されなかった場所以外への無断立入り等は厳禁とする。
7 工事写真	工事写真は、工事の着工前・完成及び施工後隠蔽となる箇所・主要な工事段階の工事状況・使用材料・その他監督官の指示するものをサービス版サイズで整理し、1部を提出するものとする。
8 書類手続	工事に必要な申請及び提出書類は官側の示す規格様式で作成し提出すること。
9 秘密厳守	工事実施によって知り得た内容に関して監督官の許可なく漏洩してはならない。
10 発生材	金属類発生材は関係書類類提出後監督官の指示する場所に集積する。その他は全て廃棄物の処理に関する法令に基づき処理すること。なお、その結果を書面(マニフェスト等)にて提出すること。
11 後片付け・清掃	工事を完了に際して作業現場の後片付け及び清掃を行うこと。
12 電気・水の使用	工事に使用する電気及び水等は請負業者にて準備すること。

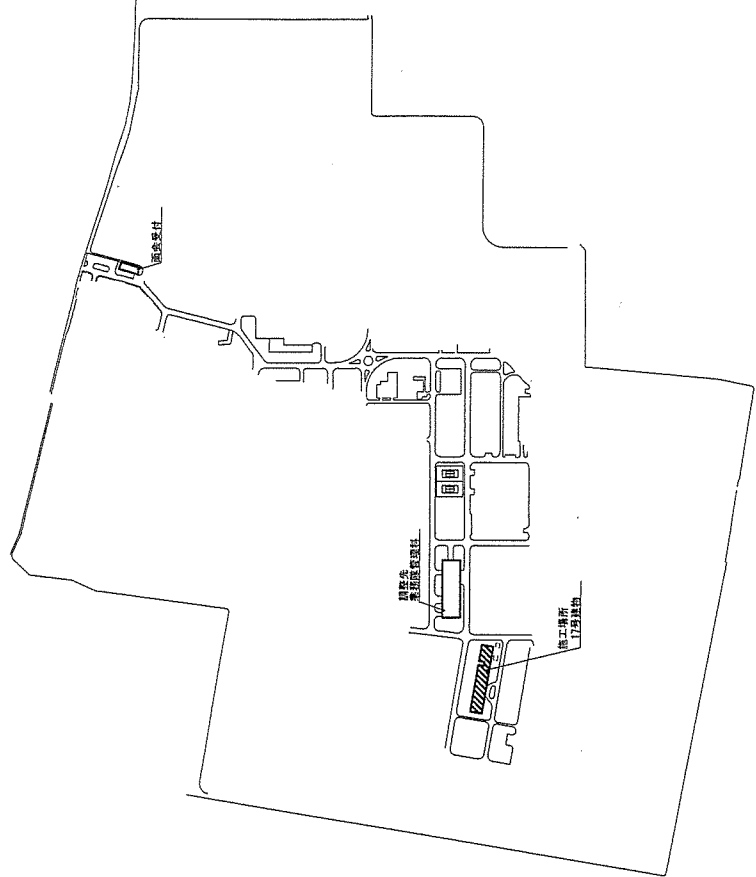
# 特記事項

項目	細部
1 仮設工事	・足場は、労働安全衛生法、建築基準法、建設工事公衆災害防止対策要綱(建築工事編)その他関係法令等に従い、適切な材料及び構造のものとし、適切な保守管理を行うこと。 ・塗装工事を実施するに伴い、養生シート等を用いて飛散防止に留意するものとする。
2 撤去工事	・既設部材を撤去する際は、既存部分に損傷を与えないよう十分注意して作業を行うこと。また、万が一損傷を与えた場合は責任をもって復旧するものとする。
3 外壁工事	・鉄骨下地に防水透湿シートを貼り付け、鉄骨下地と外壁材の間に通気性を確保するため、木胴縁を設けること。 ・透湿防水シートは、横張りを原則とし、下から上へと張り上げること。また上下の重ね代は90mm以上とし、左右の重ね代は150mmとすること。 ・木胴縁は、必ず防水シートを張った後に留め付け、木胴縁の間隔は500mm以下で柱等に留め付けるものとする。 ・横胴縁は、2000mm以下の間隔で30mm程度の隙間を設け、通気を確保すること。 ・細部施工方法については、モエン標準施工法を参考とし、施工図を提出のうえ施工をすること。 ・鉄骨下地の発錆部については、錆落とし及び錆止め塗装を行い、腐食防止の処置を施すこと。
4 塗装工事	・外壁材の塗装については下塗り、中塗り、上塗りで仕上げるものとする。また上塗り塗料はシリコン系塗料(JIS A 6909)とする。 ・仕上げ色については、既存の色に合わせるものとする。 本工事で使用する主材料は、下記規格同等品以上とする。 ・窯業系サイディングボード (910×3030@14mm 無塗装品) ・透湿防止シート JF4100A ・オーバーハング土台水切 B238W1 ・中間水切18 ・ハットジョイント FHH003R ・木胴縁 (幅45mm@33mm) ・シーリング材 SRシールS70 ・エキスパンションカパー ・シリコン系塗料 JIS A 6909 ・壁樋VP-75用バンド(ステンレス)
6 その他	・令和3年10月15日までに工事(足場含む)を完了させること。 ・本工事が確実に完了した証明として、機能補償を自然災害を除き工事を完了後一箇年とする。

工事名	17号建物渡り廊下外装材補修工事	図面番号	2/8
種別	工事仕様書	縮尺	—
陸上自衛隊朝霞駐屯地業務隊			

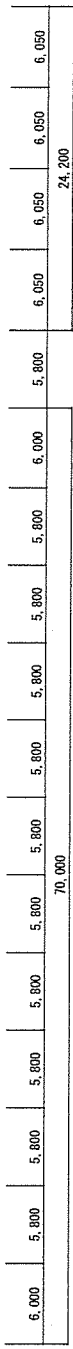
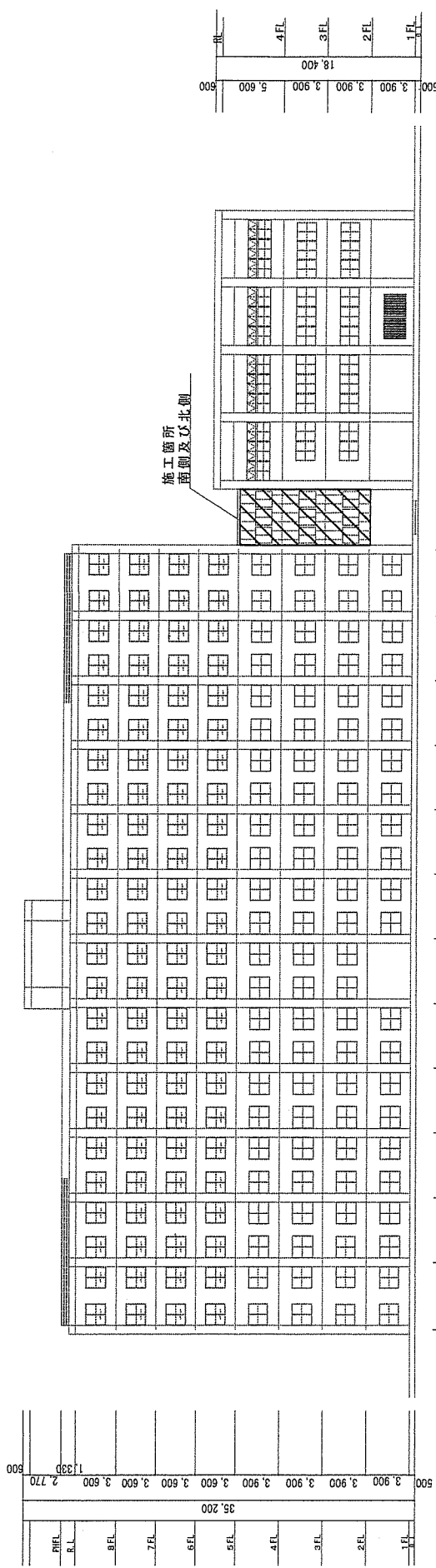


駐屯地案内図 NO SCALE

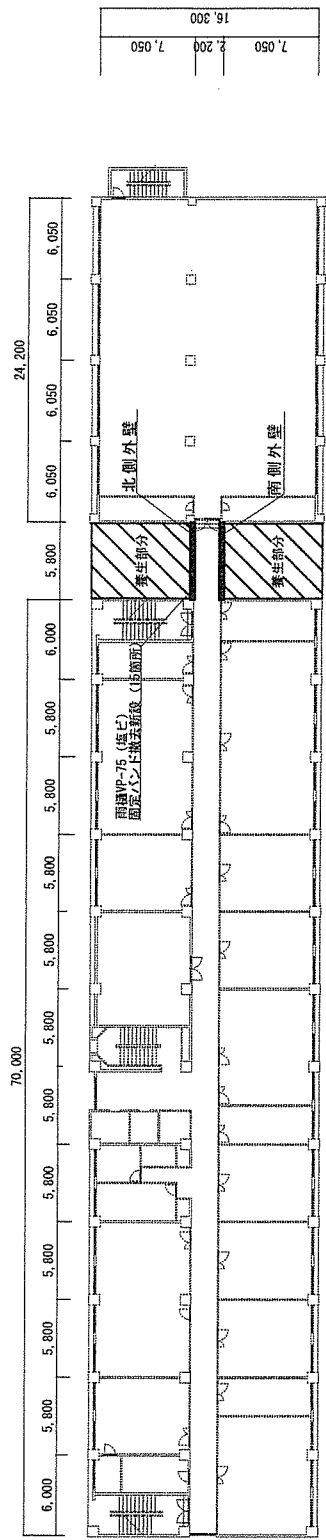


駐屯地配置図 NO SCALE

工事件名	17号建物渡り廊下外装材補修工事	図示番号	3 / 8
種 別	案内図・配置図	縮 尺	図 示
陸 上 自 衛 隊 朝 霞 駐 屯 地 地 業 務 隊			

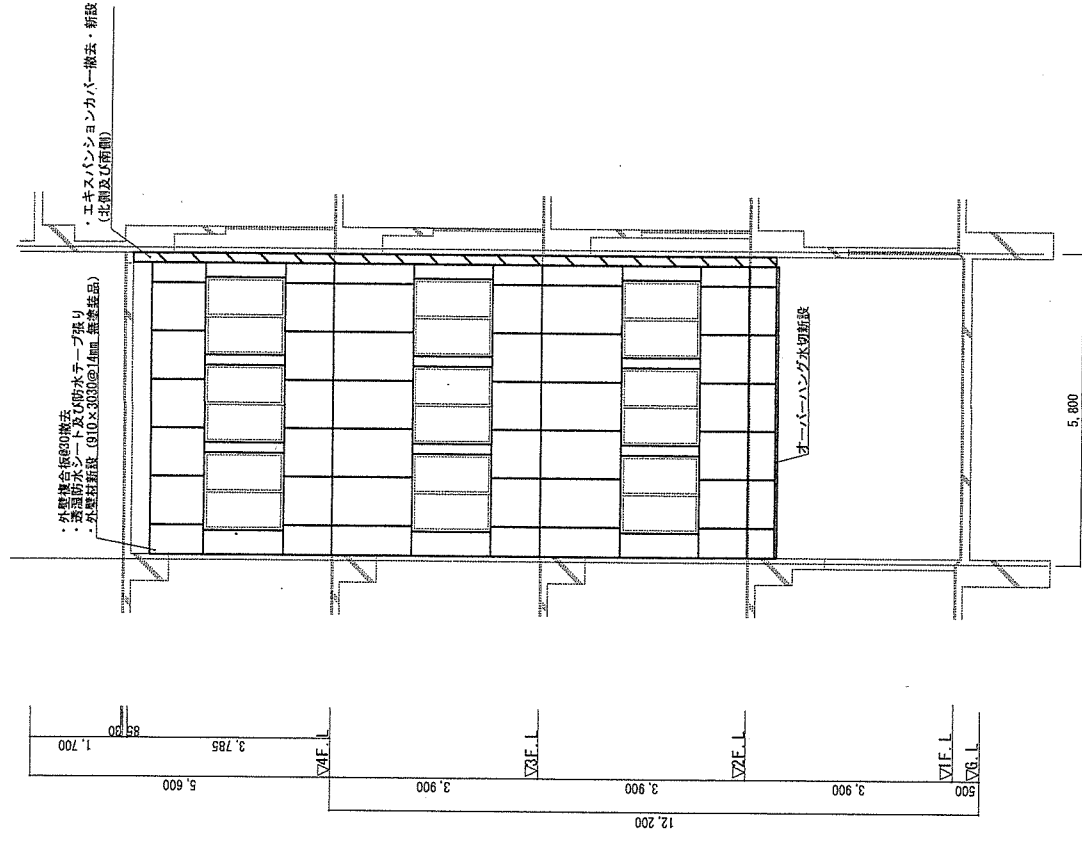


南側立面図 S = 1/400



平面図 S = 1/400

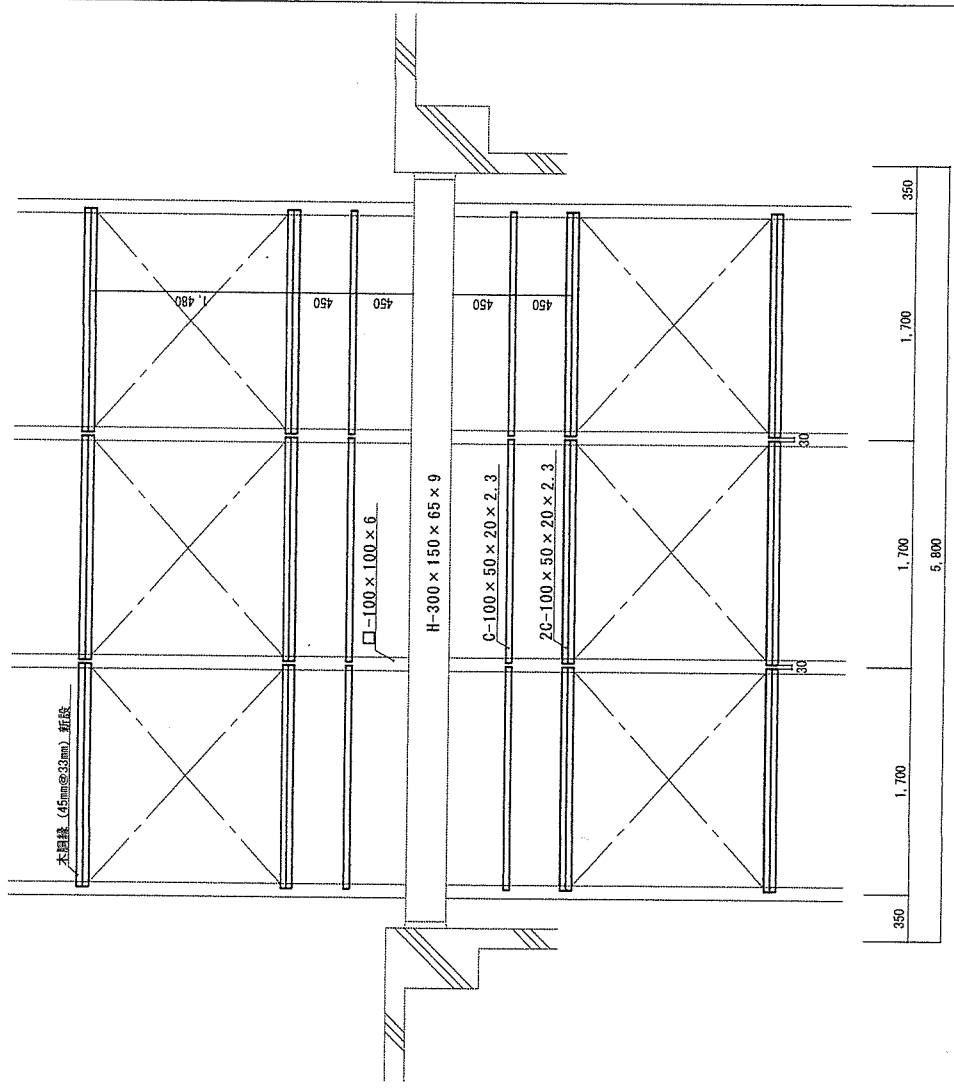
工事件名	17号建物渡り廊下外装材補修工事			図示番号	4 / 8
種別	立面図・平面図			縮尺	図示
陸上自衛隊朝霞駐屯地地業務隊					



渡り廊下立面図 S=1/100

- 改修前
- ・外壁複合板の撤去
  - ・エクスパンションジョイントの撤去
  - ・オーバーハング水切撤去

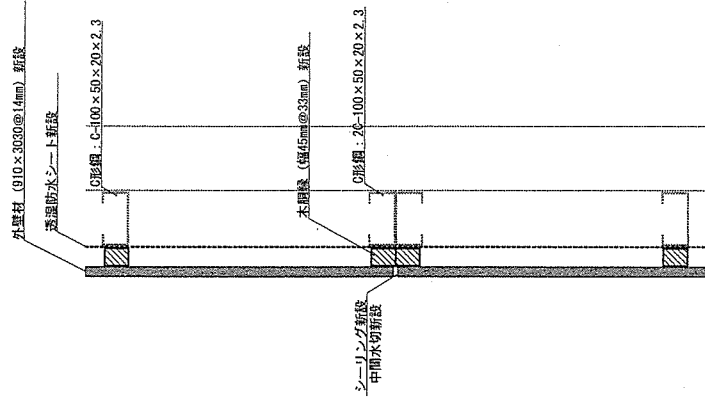
- 改修後
- ・透明防水シート新設
  - ・防火防水テープ張り
  - ・中間水切新設
  - ・オーバーハング水台水切新設
  - ・既設サイディングボード(910×3030@14mm 無塗装品)
  - ・エクスパンションジョイントの撤去
  - ・文眼線(幅45mm@20mm)新設
  - ・シーリング材 SRシール S70
  - ・シリコン系塗料(S A 800)
- ※外壁材については、無塗装品を使用し張り付け後、既存の色に合わせて塗装を施すこと。



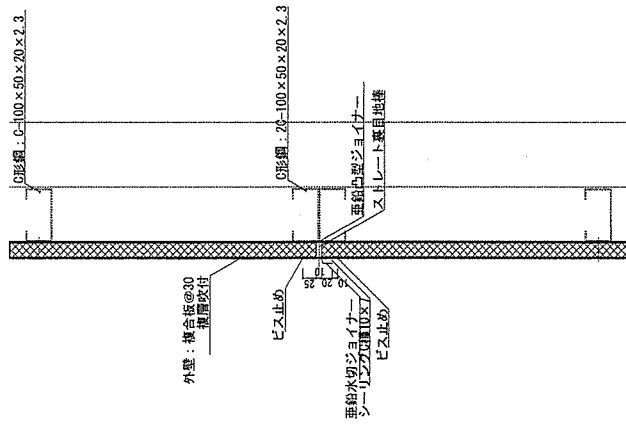
鉄骨下地詳細図 S=1/40

※横脚線の間隔は30mm以上あけ、通気性を保つこと。  
 ※鉄骨下地の巻脚部については、錆落とし及び錆止め塗装を施すこと。

工事件名	17号建物渡り廊下外装材補修工事	図示番号	5/8
種別	立面図・詳細図	縮尺	図示
陸上自衛隊朝霞駐屯地業務隊			

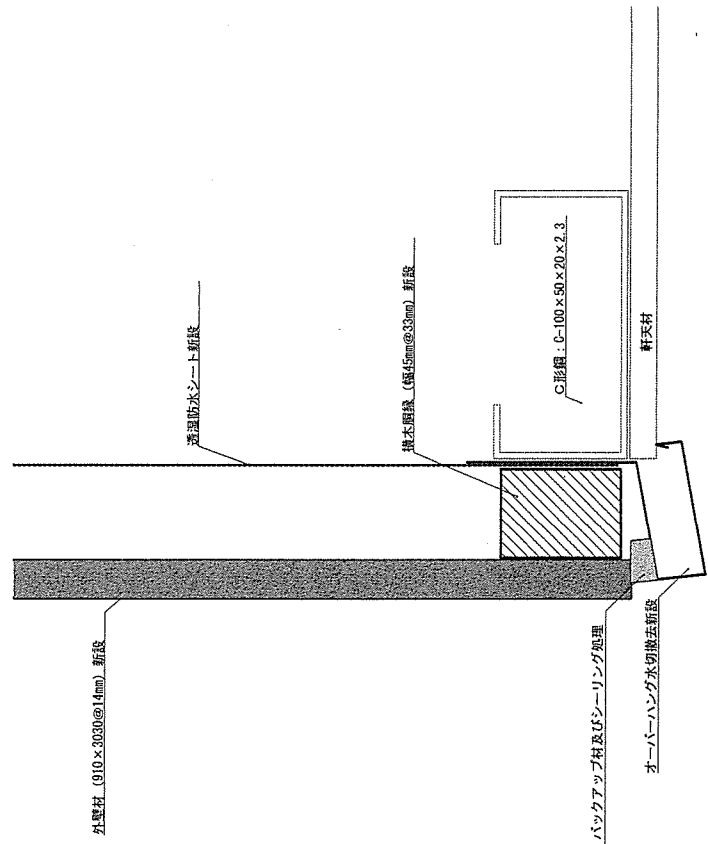
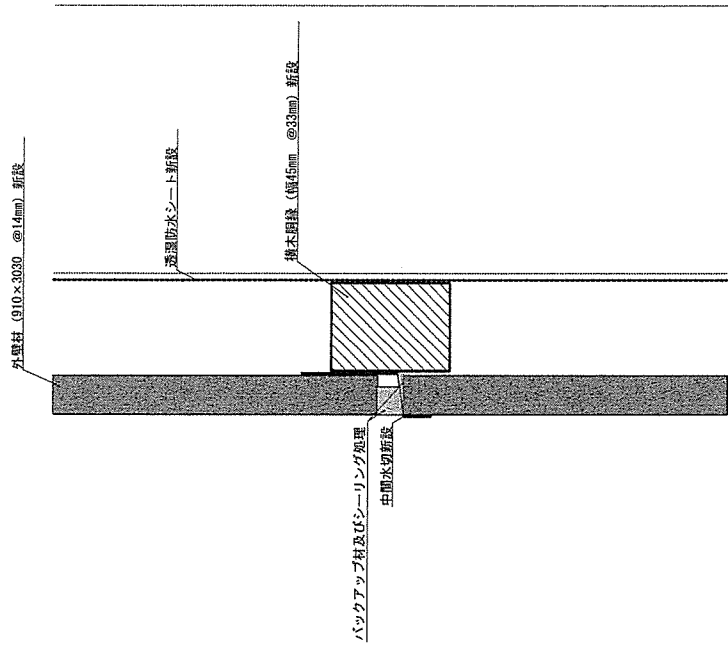


改修後断面図 S=1/10



改修前断面図 S=1/10

工事件名	17号建物渡り廊下外装材補修工事	図示番号	6/8
種別	断面図	縮尺	図示
陸上自衛隊朝霞駐屯地業務隊			

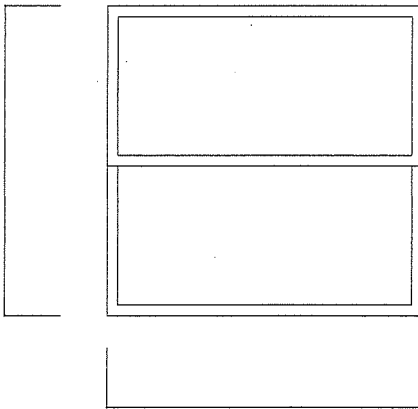


※外壁材の接合部及びサッシ廻り等には防水処理を施すこと。

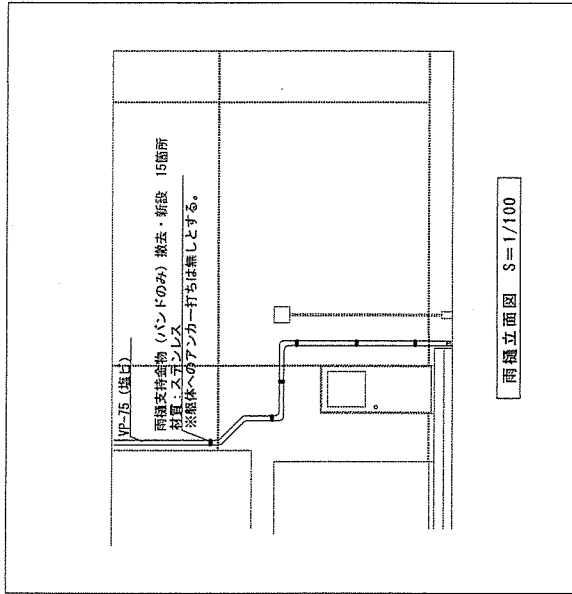
工事件名	17号建物渡り廊下外装材補修工事	図示番号	7/8
種別	各部参考図	縮尺	図示

陸上自衛隊朝霞駐屯地業務隊

1,440



アルミサッシ窓図 S=1/25



雨樋立面図 S=1/100

工事件名  
種 別

17号建物渡り廊下外装材補修工事

図示番号  
縮 尺

8 / 8

サッシ図・雨樋立面図

縮 尺

図 示

陸 上 自 衛 隊 朝 霞 駐 屯 地 地 業 務 隊